



営農NEWS



秋野菜を加害するオオタバコガ被害の発生に 注意しましょう

オオタバコガは、レタスやキャベツなど葉菜類、トマトやナスなど果菜類、ダイズやインゲンなど豆類、バラやキクなど花き類等の多くの作物を加害し、多発生すると著しく商品価値を低下させ、多大な減収を招いてしまいます。

本年の発生は、病害虫発生予報 8 月号（県病害虫防除所）によりますと、7 月下旬現在で、フェロモントラップへの誘殺数調査 5 地点のうち、1 地点で平年より多く、3 地点でやや多く、残り 1 地点で平年並となっており、8 月におけるオオタバコガの発生量はやや多いと予想しています。

例年 8～9 月になりますと、各種作物における被害が目立ってきますので、常に栽培作物を注意深く観察し、幼虫による被害が確認されたら早期に防除を実施してください。

<防除のポイント>

- 1 オオタバコガは、幼虫の齢期が進むほど薬剤による殺虫効果の低下傾向がみられますので、早期発見に努め、若齢～中齢期のうちに防除を行ってください。
- 2 幼虫は植物組織内に潜る性質があります。トマトやナスでは幼果、果実、花に食入したり、レタスなど結球野菜では結球内に幼虫が食入すると防除が困難になるため、発生初期や結球始期の防除を徹底してください。
- 3 レタスでは、移植後の被害発生を未然に防ぐために、移植前に薬液の育苗トレイ灌注を行っておくと有効です。
- 4 施設栽培では、開口部に防虫ネットを展張して、成虫の侵入防止に努めましょう。
- 5 薬剤散布の際は、葉裏や株元にもよくかかるよう、十分量の薬液で丁寧に行ってください。
- 6 薬剤抵抗性の発達を抑制するため、系統の異なる薬剤をローテーションで散布してください。

表 1 各作物におけるオオタバコガの主な防除薬剤（平成 26 年 8 月 21 日現在）

薬剤名（系統）	レタス	非結球レタス	トマト	ミニトマト	ナス	ピーマン	キャベツ	ハクサイ	イチゴ
アファーム乳剤（マクロライド系）	○	○	○	○	○	○			○
アニキ乳剤（マクロライド系）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プレバソフロアブル 5 （ジアミド系）	○	○	○	○	○	○	○		
フェニックス顆粒水和剤 （ジアミド系）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プレオフロアブル（－）	○	○※1	○	○	○	○※3	○	○	○
トルネードエース DF（－）	○	○	○		○	○			○
コテツフロアブル（－）	○	○	○	○	○	○	○		
ディアナ SC（スピノシン系）	○	○	○	○	○		○		
スピノエース顆粒水和剤 （スピノシン系）	○	○	○	○	○	○			
ハクサップ水和剤（ピレスロイド系）	○	○※1			○		○	○	
ラービフロアブル（カーバメイト系）	○	○							
ファルコンフロアブル（IGR）	○	○	○		○	○	○		○
カスケード乳剤（IGR）	○	○	○	○		○			
マッチ乳剤（IGR）	○	○	○	○	○	○			
エスマルク DF（BT）	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2
ゼンターリ顆粒水和剤（BT）	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2		○※2

注) 1 薬剤によっては、処理方法の違いにより、対象作物や病害虫の異なる場合がありますので、農薬登録の内容等を事前に十分確認願います。

2 表中の※1は対象作物がリーフレタスで、※2は野菜類で、また、※3は対象病害虫がタバコガ類で農薬登録されています。

農薬を使用する際は、ラベルに記載の登録内容、使用法、注意事項などを確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040